こどもが主役

熊本地震の報道が続いています。四月十四日夜の震度七から今日まで、地震は900回を超え、まだ警戒が続いています。

熊本・大分地方に、ご親族・ご友人はいらっしゃらないでしょうか。ご無事をお祈りするしかないもどかしさと心苦しさを感じている昨今です。

ご存知の通り松の実こども園では、四月二十二日に後援会総会が開催されました。長く後援会々長として、また、後援会副会長として松の実後援団の要としてご活躍いただいて来た松井様と大倉様がお子様と共に卒園され、新会長には野田学様（もも組蒼志君、ひよこ組篤志君の父）副会長には高橋康之助様（うめ組 健悠君父）が全会一致で選任されました。

「僕は九州福岡の出身です。熊本地震は身近なこととして心が痛みます。義援金募金に協力することが、今できる被災者支援になるのではないでしょうか。」という呼びかけを含めた野田新会長様のご挨拶が、終りの見えない避難生活を続けているお年寄りの「皆で力を合わせないとどうにもならん。やれることをせいいっぱいやって、日常生活を守らんといけん。」という言葉に重なって、胸に刺さりました。

高橋副会長様は、松の実こども園後援会を「こどもが主役・親も主役の後援会に」とおっしゃってくださいました。

こどもたちも親たちも、先生たちもみんなが主役として輝ける保育教育を続けなければならないと、こども園移行の記念すべき年度の初めに思いを新たにしています。

「こどもの日」を迎える五月です。みんなで力を合わせて こどもたちも親たちも、輝く笑顔で日常生活を守っていけるように、後援会みなさまと共に、やれることをせいいっぱいやらせていただきたいと思っています。

こどもの笑顔は
地球の力　なのですから。

ちなみに平成二十八年度「こどもの日」の標語は

その笑顔
未来を照らす
道しるべ　です。

これは、応募4775作品の中から選ばれた福島県の十三歳、増戸遥さんの作品です。

園長　福田孝子

H28.5月号